

2015 年度卒業研究第一回中間発表会の開催について

4 回生担任 香川

1. 発表会

- ・日時： 2015 年 5 月 27 日（水）10:40～18:00
2015 年 5 月 28 日（木）10:40～18:00
- ・場所： 両日とも交流センター研修室 1・2・3
- ・発表時間：発表は，一人 5 分間，質疑応答と助言をその後の 5 分間とし，一人あたり計 10 分とする．発表時間を厳守すること．
- ・発表の内容：発表要旨と同様の内容を簡潔に発表すること．

2. 発表要旨

指導教員より発表を許可された者は，2015 年 5 月 25 日（月）13:00～15:00（厳守）に，指導教員が押印した「卒業研究第一回中間発表 許可書」とともに発表要旨を B2-209 室に提出する．分量は A4 横書き 2 枚（片面モノクロ印刷）とし，書式は次の通り（学科 HP に掲載している「要旨記載例.doc」をダウンロードして使用すること）．

<最初の書式設定>

* MS-Word で，まず次の設定にする．

- ・段組 1 段（デフォルト）
- ・字体・サイズ MS 明朝+Times New Roman, 10 pt
- ・文字数・行数 48 文字×50 行，字送り 10 pt，行送り 14.55 pt
- ・余白 上下左右とも 20 mm
- ・本文 行間 1 行（デフォルト）
- ・ページ番号 つけない

<要旨全体の注意>

- *英数字は半角とする（後出の大項目の項目番号のみ全角）．
- *句読点は，「.」と「,」（全角）を用いる．
- *提出前に必ずモノクロ（白黒）で印刷し，判読できない箇所（図表含む）がないことを確認すること（カラーなら判読できるが，モノクロ印刷では判読できない場合があるので）．

<タイトルと氏名等の書式>

- *1 行目の中央に，タイトル（MS ゴシック+Arial, 12 pt），サブタイトル（MS ゴシック+Arial, 11 pt）
- *2 行目の右端に 研究室名・学籍番号・氏名（MS 明朝, 10 pt）を記載．
- *1 行あける．

<本文の書式設定>

- *段組を 2 段に変更（境界線は引かない）．このとき，
 - ・文字数・行数 23 文字×50 行，字送り 10 pt，行送り 14.55 pt とする．
- *本文は，2 段組で記述する（段の幅 23.03 字，間隔 2.13 字）．
- *以下，次の大項目の順番に記載
 1. 背景・論点
 2. 研究の目的・意義
 3. 研究方法
 4. 着手発表以降の進捗状況
 5. 今後の予定
 6. 参考文献
- *大項目は 10 pt の MS ゴシック+Arial，項目番号は全角にして，直前を 1 行あける．
- *中項目が必要な場合は，(1), (2), (3)などとし，さらに小項目が必要ななら，1), 2), 3)などとする．ともに 10 pt の MS ゴシック+Arial にする．
- *図表は次のように記載する．

- ・前後を 1 行あける（本文との区別を明確にするため）
- ・キャプション（図表タイトル）は，表は上につけ，図は下につける．
- ・キャプションの図表番号は，図 1, 図 2, 表 1, 表 2 と，9 pt の MS ゴシック+Arial にする．
- ・キャプションの本文は，9 pt の MS 明朝+Times New Roman にし，本文と切り離してもそれだけで意味が通じるようなものにする．
- ・本文中の図表は原則としてページをまたがらないこと．止むを得ずページをまたがる場合は，

分割して、それぞれのページの図表にキャプションと項目名を付けること。

- ・図表の大きさは、2段組か1段組のどちらかとする（1段組にした場合に、余白に本文を記載しない）。

*参考文献の引用について

本文中の引用箇所の右肩に右片括弧つき数字で1/4角により引用文献番号を表示すること。

例： 文献の引用を記した様式^{1),2),3)}についてはいろいろなものが……

引用文献リストは「6. 参考文献」に、9ptのMS明朝+Times New Romanで記載すること。形式は、次のようにする。

- 雑誌 例 1) 江州滋男：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，pp.225-229 (1930)
注意 1) 著者名の姓と名の間にはスペースを入れない。(アルファベットの場合は除く.)
注意 2) 年代を囲む()は半角，Times New Roman. 以下，全て同様.
2) T. Hidaka: Referring References, *Book Sciences*, 28(4), pp.1305-1309 (1945)
注意) 共著者が2名のときは2名を「,」区切りで記し，3名以上のときは第一著者名・他，または"Author et al."と記載する(著者名に関しては以下，同様)．またページは単数ページの引用が "p.220"，複数ページの引用が "pp.220-223".
- 単行本 例 3) 江州滋男：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会 (1999)
4) T. Hidaka: *How to Use References*, pp.215-219, Academic Press (1998)
5) 近江太郎：引用文献の表記法に関する研究，滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 2012 年度卒業論文(2013)
- 編書論文 例 6) 長浜滋彦：環境問題の未来と社会変動，長浜滋彦・木本マキ編：講座社会学 12 環境，pp.191-224，東京大学出版会 (1998)
- 事典類 例 7) 平凡社百科大事典，平凡社 (1990)
- 新聞記事 例 8) 読売新聞 (滋賀)，2001-02-07，夕刊 17 面
- 私信等 (電子メール，手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合) 例 9) 大津次郎：1998-12-08，電子メール
注意) 個人のメールアドレスは掲載しないこと。
10) 大津次郎，1998-12-08，電話
- Web サイト 例 11) 地球環境情報センター：データ<<http://www.geic.or.jp/choco2/member.html>>，2002-11-07
注意 1) URL には下線はつけない。ページ (記事) タイトルとは html の<title>に相当するもので，ブラウザのタブ上部に表示される。
注意 2) 電子ジャーナルや政府の刊行物など，Web 上にもあるが図書として出版されているものは，Web サイトとして引用するのではなく，刊行物として引用し，該当する文献の書式で掲載する。

3. 発表用電子媒体の提出

発表用のスライドファイルは、ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し、B1-206 室へ持参すること。提出期限は 2015 年 5 月 26 日 (火) 10:00~12:00 (厳守) とする。なお、ソフトとしては MS PowerPoint 2013 を用意する。

4. 発表順序

別途通知する (4 月 22 日頃を予定)。

就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は、事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること。